

逗子テニスクラブの年会費納入のお願い（会員全員が対象となります）

2025 年 4 月 1 日より 2025 年度の年会費納入をお願いしています。

振込み口座は下記のとおりです。

記

銀行名：みずほ銀行 逗子支店 （普通預金） 口座番号 1 1 1 1 3 8 1

口座名：ズシテニスクラブ ミチヤマ アキコ

会費：正会員 2,500 円、 家族会員 1,000 円

納入期限：2025 年 6 月末日

6 月末日までに年会費を納入されなかった方は退会扱いとなります。役員からの未納連絡はしませんので、会費の入金忘れに特にご注意ください。退会後に、再度の入会を希望される方は、改めて新入会の手続きが必要となります。池子第一運動公園テニスコートでの「土曜講習会」開催時に、入会受付の担当者がおりますので、お申し出下さい。なお、その際には、新入会費 1,000 円と年会費 2,500 円の納入となりますのでご注意ください。

「土曜講習会」の年会費納入のお願い（上記とは別の振込です）

逗子テニスクラブ会員で土曜講習会に参加される方は、逗子テニスクラブ年会費の納入とは別に土曜講習会の 2025 年度の年会費納入をお願いします。土曜講習会場で会計事務担当(藤原さん)に現金でお支払いいただくか、下記の口座にお振込みください。

記

銀行名：みずほ銀行 逗子支店 （普通預金） 口座番号 1 9 8 7 9 4 5

口座名：ドヨウコウシュウカイ

会費： 3,000 円

（ご家族分まとめた振込みも可能です。その際は振込み人名にご家族のお名前も付記して下さい。）

ご注意：第 2、第 4 土曜日のフリー練習会にのみ参加されている逗子テニスクラブ会員も

「土曜講習会」の年会費の納入が必要です

ご自分の 2025 年度の会費納入の有無について確認を希望される方は、ホームページからお問合せください。ホームページからのお問合せが困難な場合は、土曜講習会開催時間にお出でいただくか、下記メールアドレスにお問合せください。逗子テニスクラブ経理部役員及び土曜講習会の会計担当者に確認のうえ、お知らせいたします。

メールアドレス：support@ztc1975.jp

コートの抽選申込の枠を、1 枠以上ご提供くださる方は、下記のメールアドレスに、次の内容を記載してお送りください。ご家族の分をまとめてお送りいただいて構いません。

メールアドレス：support@ztc1975.jp

件名：施設予約 ID 連絡

氏名：

ログイン ID：

パスワード：

提供枠数：

2025 年 6 月 6 日

創刊 1975 年 6 月 1 日

逗子テニスクラブ会報

White Line

Zushi Tennis Club Communication Report No. 202 (2025-1)

2024 年度の総会報告

2024 年度総会は、2025 年 4 月 19 日に、逗子アリーナ第三会議室で開催され、以下の議案が承認されました。

・第 1 号議案 2024 年度活動報告および会計報告

競技企画部、広報部、総務部、経理部、会計監査報告の詳細はホームページでご確認ください。

2024 年度会計報告 (単位 円)

収入の部		支出の部	
会費 総会員 241 名		競技企画部	26,980
(正会員 188 名×2,500)	470,000	広報部	88,059
(家族会員 53 名×1,000)	53,000	総務部	17,210
(新入会員 10 名×1,000)	10,000	経理部	6,718
利息	1,283	協会加盟費	35,000
前年度繰越金	2,954,173	土曜講習会補助費	100,000
		納会補助金	95,000
		次期繰越金	3,119,489
合計	3,488,456	合計	3,488,456

2024 年度は、土曜講習会費用の残りが少なくなって来たため、土曜講習会補助費を支出しています。本来は、土曜講習会参加者の人数×1000 円を補助費として支出しますが、今回は土曜講習会参加人数は数えずに、10 万円を支出しました。土曜講習会の参加人数は、100 人を超えているので、予算措置をしていた金額より少ない支出となりました。

参考資料

2024 年度の土曜講習会会計報告

収入の部		支出の部	
前年度繰越金	96,944	コート代	143,200
土曜講習会費 3,000 円×129 人	387,000	ボール代	0
クラブ補助費	100,000	飲料代	35,380
市民土曜テニス参加費		会議費	79,700
500 円×21 人	10,500	コーチ謝金	145,500
利子	0	保険料	59,610
		通信事務費	3,000
		その他	23,150
		次期繰越金	104,904
合計	594,444	合計	594,444

・第2号議案 2025年度活動計画案および予算

技術指導部、競技企画部、広報部、総務部、経理部の活動計画と予算詳細はホームページでご確認ください。

2025年度予算案		(単位 円)	
収入の部		支出の部	
会費	550,000	技術指導部（土曜講習会補助費）	130,000
正会員（2,500円/人）190人		競技企画部	100,000
家族会員（1,000円/人）60人		広報部	120,000
入会金（1,000円/件）15人		総務部	60,000
前期繰越金	3,119,489	経理部	30,000
		協会加盟費	35,000
		50周年記念事業費	2,500,000
		予備費	20,000
		次期繰越金	674,489
合計	3,669,489	合計	3,669,489

・第3号議案 役員と監査役の選任

会長	石川 公一		
副会長	加藤 誠		
特命担当役員	久田見 直樹		
所属	部長	副部長	
技術指導部	浮邊 伸行	甘粕 久美子	幸長 一夫
競技企画部	加藤 誠		
広報部	末延 龍雄		
総務部	藤原 功紹	岡部 廣子	
経理部	道山 章子	歌田 恵子	
監査役	桐生 政郎		

・第4号議案 クラブ員の所属

規約に従い、2025年度の部員の所属を次のとおりとします。

- 1) クラブ員の所属は、技術指導部付きとする。

2) 主な活動内容は、土曜講習会の運営への協力（練習前のネットやボールの準備、参加者の確認、練習後の後片づけ、古くなったボールの分別、処理など）とする。

3) 右表のように苗字を50音別に振り分け、3ヶ月毎に講習会/練習会参加者による全員参加型の協力を仰ぐこととする。
- | 期間 | 苗字の先頭文字 |
|-----------|----------------|
| 4月 ～ 6月 | あ行 |
| 7月 ～ 9月 | か行、わ行 |
| 10月 ～ 12月 | さ行、や行 |
| 1月 ～ 3月 | た行、な行、は行、ま行、ら行 |

2025年度活動計画について

第一運動公園テニスコートの利用計画は、逗子市スポーツ協会とその他の競技団体で日程調整を行なって、年間計画を決めています。テニスについては、年間18日と定められており、追加は難しい状況です。しかし、2025年度もソフトテニス協会の行事を午後に回していただくことにより、抽選

に当選すれば利用できる可能性が高くなっています。

今後も、少しでも多くの機会にコートを利用できるよう、逗子市テニス協会を通じて、逗子市スポーツ協会に働きかけていきます。今年度は土曜講習会時間帯の抽選枠が増えていますので、抽選で当ててコートを確保するよう頑張りましょう。最後のページに、抽選申込用のIDをご提供いただく方法を記載していますので、ご協力のほどよろしくお願いします。

2025年度逗子テニスクラブ内親睦テニス大会予定

行事	予定
逗子テニスクラブ内親睦テニス大会 (池子の森テニスコート)	● 2025年9月28日（日） ● 2026年3月22日（日）

参考資料

2024年度の講習会等参加人数

	実施回数／予定 (実施月)	延べ 参加数	コーチ	合計	前年度 合計
1.第一、第三、第五土曜講習会	24/28(4～3月)	1,226	291	1,517	1,012
2.第二、第四土曜フリー練習会	18/23(4～3月)	442	42	484	513
3.夏季ジュニアテニススクール	4/4(8月)	56	31	87	91
4.市民スクール	5/5(4～5月)	166	39	205	186
5.スポーツの祭典	1/1(10月)	70	0	70	70
合 計	52/61	1,960	403	2,363	1,872

本年度もコート確保に苦労しながら昨年度より多く講習会を開催出来て参加者も多くなりました。フリー練習会は昨年度より開催日数が7回少なかったですが、コート確保が多かったせいか、1回あたりの参加人数が多く人数の変化はありませんでした。また、夏期ジュニア、市民スクールは昨年度とほとんど変化はありませんでした。スポーツの祭典については、昨年は雨で中止でしたが本年度は開催され例年通りの参加人数でした。

講習会に参加していただいたコーチ・アシスタント並びにコートの申し込み、参加者の名簿管理、ビジター参加者の手続き等をしていただいている皆さまには1年間ご協力をいただき誠に有難うございました。

逗子テニスクラブ創立50周年記念事業について

1975年に設立された逗子テニスクラブは、本年創立50周年を迎えます。当クラブは民間の商業ベースのクラブと異なりクラブハウスは無く、また、専属の事務員も居ません。テニスを愛する同好者の集まりで、会員のボランティアと最小限の会費で成り立っています。このようなクラブが50年継続して運営されていることは、誇るべきことと考えます。このクラブを、60年、70年、100年と継続させていくためにも、50周年記念事業をクラブの歴史を確認し、今後の活動を継続していくモチベーションアップの機会としたいと思います。